平 成 ３０ 年 度

第３回北海道地方独立行政法人評価委員会公立大学部会

議　　事　　録

１　開催日時

平成30年１１月２日（金）　１５時００分から１５時４０分まで

２　開催場所

北海道庁本庁舎地下１階　総務部会議室

３　出席者

【出席委員】

谷山　弘行　部会長（学校法人酪農学園 理事長）
庄司　正史　委　員（公認会計士）
鈴木　将史　委　員（国立大学法人 小樽商科大学 教育担当副学長）
田中　繁道　委　員（医療法人渓仁会 理事長）

【欠席委員】

古谷　雅代　委　員（株式会社エクサネットHAL 代表取締役会長）

４　配付資料

資 料 １－１　第３期北海道公立大学法人札幌医科大学中期目標（素案）の修正について
資 料 １－２　第３期北海道公立大学法人札幌医科大学中期目標（素案修正案）
資　　料　２　平成30年度北海道地方独立行政法人評価委員会審議スケジュール

５　開催概要

（１）開会

（２）欠席部会委員報告及び部会成立報告

（３）本日の進行説明（審議事項１）

（４）審議

・本日の審議事項について、谷山部会長から次のとおり説明。
「本日の審議の結果は、公立大学部会の決定事項として、評価委員会に付すことになります。」

【審議事項１】北海道公立大学法人札幌医科大学中期目標（素案修正案）に対する意見について

・資料１-１「第３期北海道公立大学法人札幌医科大学中期目標（素案）の修正について」及び資料１-２「第３期北海道公立大学法人札幌医科大学中期目標（素案修正案）」に基づき事務局から説明。
・出席部会委員から次のとおり意見、質問あり。

鈴木委員　：「（第４の財務内容の改善に関する目標の数値指標について）特別な事情を除くということは達成できない場合もあり得るということか。」

事務局　　：「例えば電気料金の値上げなど札医大の責任ではない状況が生じた場合は、道が負担するというものである。また、今まで札医大は適切な運営をし、無駄を省いてきたということで実質的には１％を超える削減、圧縮を実施できているところ。」

谷山部会長：「道としては、交付金は減らす方向で検討しているということか。」

事務局　　：「財政支援のルールについて、問題は医薬材料費比率等が実態と乖離していることと認識。実態に沿う形にすべく、現在財政当局と協議を行っているところ。」

鈴木委員　：「（第３の業務運営の改善及び効率化に関する目標について）理事長・学長が兼任であれば「・」で表示するのは不適切とのことで「・学長」を削ったということか。」

事務局　　：「そのとおり。法人のトップは理事長ということから理事長のみの記載としたところ。」

鈴木委員　：「理事長のリーダーシップを強化すると記載するとオーナー大学のようなイメージとして受け取られかねない感じがする。理事長（学長）という文言の方が良いのではないか。」

事務局　　：「法的な位置づけと、この文言が法人と大学のどちらに向けて言っているのかという流れ、全体は法人に向けて言っているが、ここは大学の運営について言っているので学長としてもおかしくないという議論があるので、精査した後にご報

告させていただきたい。」

鈴木委員　：「次に第４財務内容の改善に関する目標に、業務の効率化と書かれているが、札医大では、今でもやっていると思うが、これ以上何をしたらいいのか。」

事務局　　：「法人化の目的として、運営費交付金の依存率を下げて自立を促すということも１つあります。札医大は病院があるので、その点に関して一般の大学よりはアドバンテージが高いと考えているところ。」

田中委員　：「財務の話です。来年消費税が１０％になりますが、診療報酬的にはマイナスの影響が大きくでることから、（第４の財務内容の改善に関する目標の数値指標に係る文書について）特別の事情という部分は絶対書いていないといけない。」

谷山部会長：「以上で次期中期目標修正案に対するご意見がでつくしたところであります。先ほどのリーダーシップの件は、本文の関係の中で整理していただくということとしたい。」

・最後に各委員から一言づつ感想・総括の発言有。
・上記のほか、出席部会委員から意見・質問等なく、部会としては「意見なし」とし、評価委員会に報告することに決定。

【その他】

・資料２「平成 30 年度北海道地方独立行政法人評価委員会審議スケジュール」に基づき事務局から公立大学部会及び評価委員会の今後のスケジュールを説明。
・出席部会委員から意見・質問等なし。

（５）閉会